

目次	
1～3	特集 東日本大震災
4～5	後期高齢者医療制度・殺処分ゼロで人も動物も幸せに
6～7	イベント情報
8～9	もりおかインフォ
10～11	消費生活センターえぷろん・マイナンバー 3Rマイスターへの道・MORIOKA WORK STYLE 広報もりおかが1500号に
12	the もりおか人・写真deもりおか

## 東日本大震災特集

# あの時に思いをはせる



写真は「祈りの灯火2018」の様子

発行：盛岡市

☎020-8530盛岡市内丸12-2  
☎019-651-4111 (代表)  
ファクス：019-622-6211  
発行部数：14万3350部

編集：市長公室広聴広報課  
☎019-613-8369 (直通)  
info@city.morioka.iwate.jp  
記事の無断転載を禁じます。

市公式ホームページ  
<http://www.city.morioka.iwate.jp/>



Twitter  
@moriokashi



facebook  
@moriokashi



市政ラジオ  
ラヂオもりおか (FM76.9MHz)  
「ウィークリーもりおか」  
毎週金曜、7時50分～55分  
(再放送) 10時30分～10時35分











# the もりおか人 ひと vol.6

平成30年度全国高等学校総合体育大会（インターハイ）ボクシングフライ級で準優勝に輝いた福来龍神君（江南義塾盛岡高3年、巻堀中出身）を紹介します。



渾身の右ストレートで頂点へ——

福来龍神君

ボクシングの選手だった父の影響で、小さい頃から家のテレビでは頻繁にプロボクシングの試合映像が流れていました。ずっと「かっこいい」と思いながら見ていて、小学4年のとき「自分もやってみたい」と父に相談。すると父は、待ってましたばかりに、自身がトレーナーを務めるボクシング教室へ連れて行ってくれました。

小学5年で初めて大会に出場しました。結果は1回戦で惨敗。自分の無力さが悔しくて、そこからどうしたら強くなれるのかを必死に考えるようになりました。同じ教室に通っていた梅村錬選手（インターハイを2連覇した同校の先輩）にアドバイスをもらったり、大学生やプロの動画を見て研究・まねしたり——。普段の練習でも、時々キツイと思うことはありますが、頑張った分だけ強くなれると信じ、何事も楽しんでやるということ意識しています。

インターハイでの準優勝は、うれしさよりも優勝できなかったという悔しい気持ちの方が大きいです。それでも、試合前の体調管理の仕方など、得たものがたくさんありましたし、

何よりまだまだ自分は力不足だと気付くことができました。

ボクシングの魅力は、こぶしを交えることで対戦相手との絆が生まれることと、いつ相手の強打を受けるかわからない恐怖の中での闘いなので、精神面で強くなれること。これからもずっと続けていきたいと思っています。まずは、アマチュアボクシングの全国大会である全日本ボクシング選手権大会で優勝し、いつかはオリンピックで金メダルをとることが夢です。



## 写真deもりおか



1/29~2/28 多彩な短角牛料理を提供

盛岡産の短角牛を使ったさまざまなメニューを市内23店舗で一斉に楽しめる「もりおか短角牛フェア2019」（もりおか短角牛振興協議会主催）が開催されました。ユートランド姫神（下田字生出）では肉本来の旨味を味わえる「もりおか短角牛焼肉丼」を提供。多くの人が地元産の味に舌鼓を打ちました。

※美味いもんアンバサダー店では現在もメニューを提供



2 3 雪灯りでつながる笑顔

やながわ雪灯り（築川地域冬まつり実行委員会主催）が、築川地区振興センター（築川15）で初開催されました。人口減少、少子高齢化が著しく、10年以上も住民が集う催しができなかったという同地区。有志が作った雪像に火を灯し、餅つきや囃子舞などで盛り上がりました。また、地元産の野菜が入ったひつまみや搾りたての牛乳などを味わい、地域の絆を深めた様子でした。



2/4~3/3 一足早い春の訪れ

市の保護庭園、一ノ倉邸（安倍館町）では、「ひな遊ぶ」と題して、江戸時代から平成までのおひなさま約200体を展示しています。作られた時代によって表情や衣装が少しずつ異なるひな人形と邸内の春らしい飾り付けに、来場者は感嘆の声を上げ、ボランティアによる解説に耳を傾けていました。

※月・火曜を除き、10時から15時まで開館しています

もりけんに挑戦  
（9ページに掲載）の答え  
③遠野市

広報もりおかへのご意見をお待ちしています  
アンケート専用フォームから、特集や各記事への意見をお寄せください。あなたの意見が広報もりおかを育てます。



編集後記

全国から届く「祈りの灯火」の灯籠。ボランティアの皆さんが1万個を組み立て終わる頃には、指紋がなくなるほどだそう。思いが込められた灯籠を見に来てください（田村）



地球環境に配慮し、ベジタブルインキを使用しています。